

## 南仏事件情報（2016年11月分）

### （1）テロ関連

#### ○ テロ関係で6人逮捕、うち1人は活動的（B d R 県）

15日、マルセイユ市で、テロ関連容疑で6人が逮捕された。18歳の女性がジハード・サイトの熱狂的な信仰者になったことを懸念した市民からの通報を受け、警察は同女性及び16～23歳の4人を特定した。さらに、同人らとコンタクトがあった21歳のリクルーターを突き止め、逮捕した。このリクルーターは活動的で、若い女性たちを勧誘するとともに、マルセイユで行動を起こすことを指導していた。

### （2）殺人、強盗等

#### ○ 焼失車両の中から男性の遺体（B d R 県）

15日未明、トレ市の高速道路A8脇で、焼失した車両から男性の遺体が発見された。同車両は、前夜燃え上がり、午前1時ごろ鎮火されたが、消防隊は、消火に用いた液剤のため、遺体が発見できなかったと思われる。男性は56歳の付近住民で、警察には知られていなかった。

#### ○ 15歳の未成年者が殺害（B d R 県）

18日、マルセイユ市13区の路上で、15歳の少年の遺体が発見された。遺体には頭と胸にそれぞれ弾痕があり、一部が焼かれていた。少年は、市内6区に居住していたが13区の高校に通学しており、事件前日の朝、父親が地下鉄の駅まで送っていった後、行方が分からなくなっていた。マルセイユ市において、今年銃撃による殺人事件はこれで32件目である。

#### ○ ニームで若い女性が殺され、彼氏が逮捕（ガール県）

20日未明、ニーム市で、ニーム大学の1年生の20歳の女性が、23歳の彼氏から殺された。現場は2人が住んでいたニーム市中心部のアパートで、女性の身体には多くの挫傷痕が残されていた。彼氏は、救急隊に通報した後逃走したが、翌日の午前中に発見され逮捕された。事件は、土曜の夜、女

性が1人で外出し、帰って来たところを彼氏が外出の理由を質し、携帯電話の通話履歴を調べようとしたことに端を発した。隣人は物音を聞いて警察に通報したが、駆けつけた警察官はアパートを特定することができなかった。消防に通報がなされたのは、それから4時間後だった。

○ 新たな遺体が発見（オード県）

26日午前9時30分ごろ、ナルボンヌ市のロビヌ運河から、遺体1体が引き揚げられた。警察が身元の特定を開始している。同運河では、今月8日にも60歳代の女性の遺体が、また5月と6月にもそれぞれ男性の遺体が発見されている。

○ 検問中の憲兵隊員が殺される（オート・ガロンヌ県）

26日23時ごろ、アリエージュ市で、2人の憲兵隊員がパトロールをしていたところ、突然Uターンをして逃走した車を発見した。憲兵隊員が追跡し、道路脇に追い詰め、職務質問しようとしたところ、その車が急発進し、憲兵隊員に激突して逃走しようとした。憲兵隊員は、救急病院に搬送されたがまもなく死亡した。犯人は、31歳のアリエージュ出身の男で、窃盗・暴行・未成年者に対する性的暴行などの罪で、アリエージュへの立ち入りを禁じられていた。

○ 殺人犯、20時間後に逮捕（エロー県）

26日、モンフェリエ市で、47歳の元軍人が、殺人容疑で逮捕された。24日21時ごろ、モンフェリエの修道士用の老人ホームで、54歳の掃除婦を刺し殺したと見られている。

○ 23歳女性が刺殺（オート・ガロンヌ県）

29日18時ごろ、フュメル市で、3歳児の母である23歳の女性が、ナイフで喉を切られて死亡した。被疑者はコレラックに住む男で、被害者の元交際者だった。3歳の自分の子供に会いに来たがこれを拒否され、口論の末犯行に及んだと見られている。男は、同日20時30分ごろ確保された。

## (2) その他

- 警察署に酸入り缶が投げ入れられる（アルプ・マリティム県）

1日23時ごろ、ニース市内の警察署の敷地に、酸で満たされたアルミ缶が投げ入れられた。爆発音を聞いた警察官が屋外を確認したところ、白い煙が立ちこめていた。その1時間前にも、爆竹が破裂する音が聞こえていたとのこと。この爆発により、駐車車両に軽い損傷が出たが、怪我人は出なかった。

- 交通トラブルの末の銃撃（B d R 県）

3日午前、マルセイユ市内の高速道路A55上で、パッシングが無理な追い越しが原因で、2台の車両によるカーチェイスが始まった。この後、1台の車両の運転手が市内3区の路上で相手を待ち受け、おもむろにけん銃を抜いて発砲し、30歳代の男性が足に銃弾を受けて怪我をするに至った。

- T E R 内での暴力行為（アルプ・マリティム県）

9日午前7時30分ごろ、カンヌ市で、警察は14～17歳の少年7人を拘束した。5日18時30分ごろ、T E R がカンヌ駅に停車した際、車内に催涙ガスを散布し、暴力行為を行い、3人にケガを負わせた容疑がかけられている。警察は、復讐劇の一部だと考えている。

- カルカッソヌで車両火災が多発（オード県）

11月に入ってから20日までの間、カルカッソヌ市内の複数の地区で、20台以上の車両火災が発生している。10月30日から31日にかけて5台が、11月4日から5日にかけて3台が焼失した。警察が捜査中である。

- 誘拐事件、数時間で解決（B d R 県）

18日午前6時45分ごろ、マルセイユ市15区で、セキュリティ会社に勤務する26歳の男性が誘拐された。男性は、車両に乗って会社の倉庫を出て数キロ走行した高速道路A55上で2台の車からブロックされた。男性は、車に乗ってい

た3人の襲撃者のうちの覆面をして武装した男から爆弾ベルトを装着され、抵抗すると命がないことを知らしめられた上でカブリエ市の商業施設「プラン・ドウ・カンパーニュ」に行くよう指示された。犯人らは、男性にスーパーの現金自動支払機を開けさせ、約7万ユーロを奪って逃走した。男性はジニャック市において解放された。暴力は受けておらず、怪我はしていなかった。男性から通報を受けた警察の捜査の結果、犯行から数時間後にロブ市とサン・ヴィクトレ市に住む25～30歳の男3人が特定され逮捕された。

○ 34件の車上狙いを検挙（B d R 県）

21日、サン・ビクトレ市において、警察は2人のマルセイユ人を窃盗容疑で逮捕したことを明らかにした。被疑者らは、エクサンプロバンス周辺において、ホテルの駐車場に停めていた車両に対する車上狙いを敢行し、被害は34件にのぼっている。被疑者らが使用していたのはプロ仕様の用具だった。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。